







# その他

その他にも、節電できる方法はたくさん！まずは自分のできるところから、無理のない範囲で取り組みましょう。（下記の表は一例です）

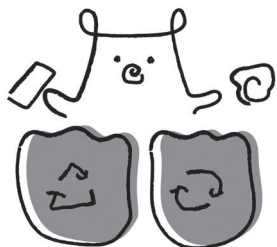
節電効果  
(削減率)

テレビ	省エネモードに設定し、画面の照度を下げる。見ていない時は消す。	1.0%
温水洗浄便器	タイマー節電機能を利用する。(機能がない場合は、便座保温・温水の設定温度を下げ、便座のふたを閉じる)	0.2%
洗濯機	容量の8割以上を目安にまとめ洗いをする。	0.3%
乾燥機	衣類乾燥機(洗濯機の乾燥機能含む)や浴室乾燥機は、部屋干しと併用して、使用時間を短くする。	0.5%
省エネ製品	蛍光灯や白熱電球をLEDに、古いエアコンを新しい省エネエアコンに、給湯器を高効率なものに替えるなども効果的。	—

二酸化炭素排出量を実質ゼロへ！

## ゼロカーボンシティ宣言

もっと知りたい人は、  
環境省脱炭素ポータル  
をチェック！



野々市市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて取り組みを加速させるため、令和4年3月7日、ゼロカーボンシティ<sup>\*</sup>を宣言しました。

※ゼロカーボンシティ……環境省が定義した「2050年に二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨とする首長自らまたは地方自治体として公表した地方自治体」のこと

節電や省エネも「ゼロカーボンシティ」を目指す取り組みの一つ。脱炭素社会のために、身近なアクションから取り組んでみましょう。



栗市長へトロフィーと賞状の授与



ラッシャー板前さん(審査員長)  
もう中学生さん(司会)と市担当者

CM撮影の様子

### 第21回石川ふるさとCM大賞

### 野々市市がローカルクラフト賞！

北陸朝日放送(HAB)の番組『ふるさとCM大賞』が今年も開催されました。県内19市町がまちの魅力を伝えるCMを作成し、出来を競うこの番組。今回は「未来へ伝えたいふるさとの魅力」をテーマに、SDGs達成を目指す思いや取り組みを表現した珠玉の30秒CMが集まりました。

野々市市は、市内をくまなく巡るコミュニティバスのつていを取り上げました。マイカーの移動に比べて二酸化炭素排出量が少なく、バス停までのウォーキングも健康的。そんなつていの魅力を伝えるCMが評価され、ローカルクラフト賞を受賞しました。CMは、市公式YouTubeでも公開中。ぜひ見てみてください。

出演：野々市市明倫高校演劇部

NONOICHI CITY CHANNEL  
NONOICHI CITY CHANNEL  
野々市市公式YouTube

